



## とつか

### 2024年1月会報 第351号

- 国際会長(IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)  
2023 主 題 “Let Your Light Shine” 「輝かそう、あなたの光を」  
スローガン“Good Communication is the Cornerstone in Every Cooperation”  
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」  
アジア太平洋地域会長(AP) 利根川 恵子 (川越)  
~ 主 題 “Be the light for change” 「変革のための光となろう」  
スローガン“Shine and empower through fellowship” 「親睦を通して、輝き、力を得よう」  
東日本区理事(RD) 山田公平 (宇都宮)  
2024 主 題 “Instil Confidence in our Youth!”  
「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」  
スローガン“Youth Empowerment through SDGs Youth Action”  
「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」  
湘南・沖縄部部長(DG) 黒川 勝 (金沢八景)  
主 題 主 題 “初心に帰り、新たな船出に踏み出そう” 副 題 「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」  
クラブ会長 吉原 訓 主 題「原点回帰」; 副会長若木一美・書記 加藤利榮・会計 岡 進・ネット 吉原和子



#### 会長ひとこと



#### ☆ 新年に… ☆ 会長 吉原 訓

コロナ禍により、集まりにくい環境から  
やっと解放されつつあります。今年もどう  
ぞよろしくお願いいたします。

昨年12月9日(土)、湘南とつかYMCA  
ホールにおいて、ささやかなクリスマス会が  
開かれました。集まったのは、湘南とつかのユースリーダー  
10数名と、薩摩館長を含むワイズメン8名です。

会は館長とクラブ会長のあいさつで始まり、リーダー、  
ワイズメンの自己紹介…と続きました。館長からは、ク  
リスマスはキリストの誕生日ではなく、キリストの誕生を  
お祝いする日であり、誕生日はいまだに不明…と紹介があ  
り、聖書の一節に触れてお話をいただきました。ユースリ  
ーダーの皆さんからは、3グループの研修参加の報告や  
感想を聞かせていただきました。社会に出る少し前の学生  
さんたちが、全国レベルで集まった色々な人たちと出会い、  
意見交換をし、キャンプファイヤーを囲んで時を過ごす。  
聞いていて、胸に熱いものがこみ上げてきました。

ワイズはEMCが進まない、悩み多い月日が続きます。  
出来る事をムリなく・確実に…。とつかYと共にクラブも  
開設30周年、様々な人と触れ合い・実り多き年を期待して…。

#### ◎ 今月の聖句 ◎

父である神とわたしたちの主キリスト・イエスからの  
恵み、憐み、そして平和があるように。

—テモへの手紙Ⅱ 第1章2節から—

あらたまの年を迎え、神も祝福しておられます  
神の母に捧げられたこの日に、世界の平和と一人ひとり  
の幸せを祈りましょう。今日の日が、喜びと希望と、そして  
平和の時となりますように…。

#### 強調月間

EF JEF

EF: Endowment Fund (エンダウメント ファンド)  
国際的財政的安定とワイズ発展のための基金で、献金  
すると、ゴールデンプックに記帳され、永久保存される。  
JEF: Japan East Y's Men's Fund (東日本区ワイズ基金)  
個人・クラブで区に寄付をする。「奉仕帳」に記帳される。

- ◎ 久しぶりのリーダーたちとの交流例会でした。
- ◎ 12月例会: 出席9名・出席率: 90%
- ◎ 年末恒例のアツマリは、12月はありません。
- ◎ 1月13日(土)部新年会に参加しましょう。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

★強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う★

## 例会



## ☆ 12月の例会はリーダーとの交流会が… ☆

若木 一美 (3記事とも)

日 時：2023年12月9日(土)12～15時  
会 場：湘南とつかYMCA・1階ホール  
出席者：〈リーダー〉 9名  
吉原会長・浦出・薩摩・柴原・鈴木・  
瀬戸・若木

(メネット) 吉原メネット (以上17名・敬称略)

12月9日、本年最後となる例会が開催されました。

近年、吉例となっている湘南とつかYMCAリーダー会との交流を兼ねた「さわやか」例会です。

定刻12時に「1テーブル4人」(リーダー2名・ワイズ2名)が着席し、まずはリーダー会による「自己紹介ゲーム」、所属と名前を書いたカードを付けるなどして、ひと時を楽しみました。

薩摩館長による開会礼拝に引き続き、吉原会長のあいさつのおあと、お弁当と「手作りトン汁」で、楽しい昼食のひと時、どのテーブルも話が弾み、和やかなムードの内に時間が経ち、こうした会合は、回を重ねるごとに和やかムードになってきているようです。

昼食後は、まずリーダー会による、リーダーの活動報告、その一番目は、先ごろ開催されたユースボランティア・リーダーズフォーラム、ワイズ東日本区内のYMCAリーダーたちと意見交換をし、またキャンプファイアなどを囲んで、多くの学びと交流の輪が広がった旨の報告がありました。そして、その二番目は、湘南とつかYMCA・い〜とつか祭について、準備状況や、当日の様子が具体的に紹介され、来年に向けた抱負などが熱っぽく報告されました。

続いて、瀬戸担当主事から、今後におけるリーダー会ととつかクラブとの協働計画についての「案」が示され、その具体的な部分に関しては、今後検討することを確認して、一同記念写真に収まり、閉会しました。

なお、今年卒業予定のリーダーは一人ということなので、次年度はさらに充実した活動や会合ができるのではないか… と思いました。(以上)

(ユースボランティア・リーダーズフォーラム＝  
Youth Volunteer Leaders Forum)

東日本区内のYMCAに在籍するユースボランティアリーダーを対象として東日本区が、その経費等を負担し、年1回主催するトレーニング・プログラムを指す。)



## ☆ YMCA-Y's協議会が100回目を迎えて ☆

12月5日、第100回目となる標記の協議会が19時から湘南とつかYMCAで開催されました。

かつて、今から30年ほど前、吉村総主事の1990年代の後半に、「会長懇談会」として始まり、2008年には実施要綱も整備され各クラブ持ち回りで開催され、今回は、とつかクラブが担当・吉原会長が議事進行を務めました。

定刻に開会、開会礼拝ののち、横浜YMCA佐竹総主事と黒川 勝部長からごあいさつがあり、協議へ移りました。

① 部合同新年会は、部長から明年1月13日・中華街広東飯店(会費5,000円)で開催が提案され承認されました。

2024年度Y-Y's協議会の在り方について、若木Y'sから、今回の100回を契機に6月・12月はYMCA選出者と部長及び会長の若干名で開催し、3月と9月は従来どおりの開催としては…との提案、協議の結果、部長はか数名とYMCA関係者数名で更に検討し結論することとなりました。

② 「ワイズ・SDGsユースアクション2024」について板崎ユース事業主査から、一提案20万円の補助があるこの事業に積極的に応募するよう呼び掛けがあり、審査は東西日本区とYMCAの審査を経て決定されるとのことでした。

YMCA・各クラブ報告があつて、20:30閉会しました。

## ☆ 横浜YMCAクリスマス礼拝開かれる ☆



横浜YMCA—私たちの使命—冒頭—私たちはイエス・キリストの教えに…で始まります。12月はそのクリスマス礼拝があり、ここ数年教会で開き、今年は16日・13時30分から指路教会で、藤掛順一牧師による「わたしはあなたがたを友と呼ぶ」のテーマでメッセージをいただき、「ヨハネによる福音書15章11～17節」を語られました。(写真)

愛と平和を求めるYMCA運動の大切さも併せて語られ、参加者一同、思いを新たにいたしました。続いて、「報告・案内」では岡戸良子国際事業委員長から、本日の献金が国際・地域協力募金として、各地で困難な状況にある人々に用いられる旨のお話がありました。次いで、明年4月から職員となる内定者23名の紹介や2月の会員大会の案内があり、佐竹総主事の感謝の挨拶で第一部は終わりました。礼拝の中では、今年もYMCA混声合唱団による「きよしこの夜」「もろびとこぞりて」が賛美されました。また、小憩後の第二部では、YMCAポートフレンズの皆さんによるハンドベルの演奏があつて、しばし会場は荘厳なムードに包まれ、拍手のうちに、厳かに閉会となり、散会しました。

(写真は横浜YMCA広報室のご提供による。)

## 特別 寄稿

### ☆ とつかクラブのブリテンから



横浜 YMCA 総主事 佐竹 博

横浜とつかクラブの皆様、いつもご支援いただきありがとうございます。今回も貴クラブブリテンにて感じましたこと、3つほど書かせていただきます。

まずは、第346号、長野クラブ湯田勝彦さんの寄稿についてです。湯田さんは横浜YMCAのスタッフ

でした。直接一緒にお仕事したことはありませんが、当時には珍しいやさしい先輩のおひとりでした。湯田さんがYMCAを退職されたあと、同盟に出向中で東日本区連絡主事だった私は、長野クラブチャーターに出席し、湯田さんに再会しました。10年ぶりだったかと思います。それから20年経って、6月に甲府で行われた東日本区大会でお会いすることが出来ました。とても嬉しかったです。その興奮のまま記事を読んだのでした。

2つ目は第349号、吉原会長が参加されたチャリティランの記事についてです。当日、吉原さんとお話したことに触れているのですが、「横浜市内のある地域でYMCAの優れた…」の一文があります。臨港パークで、吉原さんに掛けていただいた言葉にとっても強く励まされました、この文章でもさらに励まされました。どこの、何の話か分からないようにはなっておりますが、今、具体的な作業に取り掛かっていて、この4月には形となります。春には「このことだったのか!」とご紹介できるかと思っておりますので、お楽しみに…。

3つ目は記事ではないのですが、いつもブリテンをお送りいただく封筒に貼られた切手についてです。いつも貼られた切手を見るのが楽しみで、中にはかなりの歴史のものもあり、私が生まれる前(1967年以前)のものにも多く出会います。50年以上たっても価値が変わらないものに(当たり前なのですが)、私はなぜか惹かれております。これだけの切手を毎月貼って送ってくださり、その切手で楽しませていただいていることに感謝しております。先日、家を片付けていたら、まとまった数の切手が出てきたので、「これは」と思い、感謝のしるしに加藤さんにお送りしました。たいしたものではなく、最近の、そして一般的なものばかりでしたが、加藤さんから「こんな宝物をもらって、もったいなくて使えないからとっておく…」と言われ、恐縮しております。

是非ご利用ください。お願いいたします。

総主事として、もうちょっと書くべきことがあったかな?…と思いつつ、本年もよろしくお願いいたします。

今年も皆様にとって、よい年となりますようお祈りいたします。

(佐竹総主事さま ご多忙時に素敵な玉稿を有り難うございました。Tk)

## 新年随想



### ☆ ‘さわる模型が…’ いよいよ ☆

ユニーフ代表 大下 利江子

歴史的建造物を‘さわる’模型が、今春、いよいよ鎌倉の建長寺に完成します。ご本尊をお祀りする仏殿の1/50ブロンズ製模型が、実際の仏殿の真ん前に設置されます。(写真)

9年前、世界遺産ポルトガルのベレンの塔の前の広場で初めて見て以来、日本にも絶対ほしいと願っていた夢の模型。目の不自由な人も触って建物の形が分かるようになり、旅の感動を共有できるようになります。見える人にも鳥観図や全体像といった新たな視点を与えます。見える人も見えない人も模型を囲み場を分かち合い、互いに気付き、興味を持つきっかけになります。共に生きる社会の具体的な一歩になります。



「皆一緒に」は、娘が2歳の時、目のがんで失明して以来の切なる願い、そのために少しでも…と、2008年、見える子と見えない子が一緒に使えるユニバーサルデザイン絵本の郵送貸出図書室を創設しました。市販の絵本をいったん解体し、ページ大に切った透明シートに本文を点字化、見開きごとに挟み込んで再製した英国発祥の絵本です。構想でしかなかった頃、横浜YMCA「夢すくすく賞」特別賞を頂き、横浜とつかクラブ様には、以来15年にわたりご支援を頂いております。2019年の受賞～内閣総理大臣表彰と社会貢献支援財団社会貢献者表彰～は、長期にわたる皆様の無私のご支援なしに語ることはできません。

「皆一緒に」と申しても、絵本への興味・関心は教育・福祉分野の人に限られがち…ですが、今回の‘さわる’模型は、名だたる観光地にあり、障害や福祉に縁のなかった人たちにも楽しく働きかけます。「これは何?」と立ち止まり、見えないと建物が分からないと気付くだけでも、障がい理解につながるかと確信しております。

たった1台の模型は、大海のひとしづくに過ぎませんが、これと向き合う人たち、特に最近では国外からの観光客も鎌倉あたりは増えつつあると聞いております。

どんなふう楽しんでくださるか、今からワクワクしております。

～大下様、感動に満ちた原稿、有り難うございます。

クラブとして、早い機会に現地を訪れたいと思います。～

## 《アンジュ通信》

### ☆ 今回は横須賀へ ☆

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬 良文



11月24日、アンジュは「横須賀お出掛けプログラム」を実施しました。9月から話し合いを重ね、行先や食事・活動内容を決めました。

当日は、穏やかなお天気に恵まれ、「猿島探検」や「軍港巡りクルーズ」などを楽しみました。

今回、自分の意見を伝えること、相手の意見を聞くことを

目的に計画しました。想いを通すことに執着する傾向の方が折衷案を出すなど、成長を実感できるプログラムとなりました。





12月9日に湘南とつかYMCAリーダー会とワイズメンズクラブの皆さんでクリスマス会（交流会）を行いました。最初に、湘南とつかYMCA 薩摩館長が開会礼拝を行い、YMCAに関わることやクリスマスのお話しもいただき、和やかに始まりました。

ワイズメンズクラブを代表して吉原会長からは、「今回の交流会をきっかけに積極的に今後とも交流して、地域のため、YMCAのためにできることを共に考え活動していきましょう。」とメッセージをいただきました。

リーダーたちからは、2023年の活動報告です。各自が行ってきた活動と研修に参加した報告をスライドを作成して、皆さんの前で報告しました。こういう機会も彼らにとっては社会に出る前にとっても有意義な学びである機会です。緊張が隠せないリーダーもいましたが、しっかり自分の言葉で発表できていました。とても頼もしく見えました。

後半は、食事をとりながら、2024年の活動をどのように一緒にできるか？どんなことをしたいか？テーブルごとに意見交換をしました。

短い時間でしたが、ワイズの皆さん、リーダーたちにとっても意義ある時間となりました。

YMCAは、このように多世代の多くの方に支えられているな…と改めて感じたことと、青少年育成団体だと再確認した一日でした。これからも共に歩んでいきたいと思えます。



- ◎ 1月13日（土）部合同新年会・17時～・広東飯店  
まだの方は、至急、吉原会長までお問合せください。  
本会合をもって、とつかクラブの1月分会合とします。
- ◎ 2月12日（月・休）横浜YMCA会員大会・10時～  
横浜YMCA2023年度会員大会―ピースフォーラム―が  
湘南とつかYMCA1階ホールにおいて開かれます。  
特別講演には、『戦争』『平和』『未来』の作り方の  
テーマで、フォト・ジャーナリストの桃井和馬氏が、  
「ウクライナ戦争から、パレスチナ・イスラエル戦争、  
そして地球環境を考える」のサブタイトルで、講演されます。  
当日は、9:30受付・閉会は12:30の予定です。  
YMCA維持会員の学びの場として、是非のご参加を  
お待ちしております。（参加費無料）

Happy Birthday

—1月・該当者なし—

# トピックス ～‘案山子の独り言’から～

（その一）1月のハナ・ベスト5 と花ことば

- ① アンズリウム：情熱
- ② ガーベラ：希望・常に前進
- ③ チューリップ：恋の告白
- ④ ツバキ：理想的な愛情
- ⑤ ヒヤシンス：しとやかな可愛らしさ

（その二）むつきになりました…。

- ① 漢字では「襍俵」と書きます。産着を着ていた時代・ごく幼いころを指して言います。
- ② ここでは「睦月」の意味です。  
陰暦正月の異称、「むつびづき」
- ③ 一方、「一年の元となる月」から「元月（もつぎ）」ともいう。

（その三）‘うるう年’（閏年）について

- ① 閏年とは「閏のある年」で、そうでない年を「平年」と呼び、月と太陽の運行のいずれかを補正するため、2月を1日多くしたとか…。
- ② …となると、2月29日生まれの人は4年に一度しか…。ご心配なく…、そこは「年齢計算による法律」によって、前日の2月28日に満1歳とすることが明記されています！
- ③ 因みに、英語では、Common yea「平年」r に対し、‘Leap year’（飛び・跳ねる年）とか…。
- ④ このキマリはユリウス暦に由来するとか…。  
なお、グレゴリオ暦では、1582年に制定され、この方式が定着して、現在に至ったとか…。

〈後記〉 皆さん 明けまして…。世界が平和であるように…。(t/k)

【今月の歳時記】

“新年・氷柱”

**新年**：年の初めをいう。あらたまの年、新春、新歳ともいう。  
陰暦では新年と春がほとんど一緒だったので、春といえば新年を指していた。今でも「今でも「明けの春」などといって、新年の意をあらわす習慣が残っている。

新しき年・改まる年・年明く・年立つ・年頭ともいう。

餅焼いて新しき年裏返す 原 裕

**つらら**：気温が下がると、軒から落ちる水滴が凍って、飴の棒のように垂れさがる。形は大小さまざまで、北国では屋根から地上に届く太い氷柱ができることもある。崖の氷柱や滝の氷柱は玉すだれを掛けたように美しい。朝日に反射して、キラキラと光る氷柱は美しい。子どもたちはこれを折り、チャンバラゴッコをしたりする。

はればれと昼の氷柱の水しぶき 龍 太